Cisco Client Extensions の設定

- Cisco Client Extensions を実装するための前提条件，1 ページ
- Cisco Client Extensions の設定に関する制約事項，1 ページ
- Cisco Client Extensions についてCisco Client Extensions，2 ページ
- CCX Aironet IE の設定（GUI），2 ページ
- クライアントの CCX バージョンの表示（GUI），2 ページ
- CCX Aironet IE の設定（CLI），3 ページ
- クライアントの CCX バージョンの表示（CLI），3 ページ

Cisco Client Extensions を実装するための前提条件

- ソフトウェアは、CCX バージョン 1 ～ 5 をサポートします。これによって、switchescontrollersdevicesとそのアクセス ポイントは、CCX をサポートするサードパーティ製クライアント デバイスと無線で通信できます。 CCX サポートは、switchcontrollerdevice上の各 WLAN に対して自動的に有効になり、無効にすることはできません。 ただし、Aironet Information Element（IE）を設定できます。
- Aironet IE のサポートが有効になっている場合、アクセス ポイントは、Aironet IE 0x85（アクセス ポイント名、ロード、アソシエートされたクライアントの数などを含む）をこの WLAN のビーコンやプローブ応答に格納して送信します。また、アクセス ポイントが再アソシエーション要求内の Aironet IE 0x85 を受信する場合、switchcontrollerdeviceは、Aironet IEs 0x85 および 0x95（switchcontrollerdeviceの管理 IP アドレスおよびアクセス ポイントの IP アドレスを含む）を再アソシエーション要求に格納して送信します。

Cisco Client Extensions の設定に関する制約事項

- CCX は、Cisco OEAP 600 アクセス ポイントではサポートされず、CCX に関連する要素もすべてがサポートされるわけではありません。

- Cisco OEAP 600 では、Cisco Aeronet IE をサポートしていません。
- 7.2 リリースでは、CCX Lite と呼ばれる新規バージョンの CCX を使用できます。 CCX Lite の詳細については、http://www.cisco.com/web/partners/pr46/pr147/program_additional_information_new_release_features.htmlを参照してください。

Cisco Client Extensions についてCisco Client Extensions

Cisco Client Extensions（CCX）ソフトウェアは、サードパーティ製クライアント デバイスの製造業者およびベンダーに対してライセンスされます。 これらのクライアント上の CCX コードにより、サードパーティ製クライアントデバイスは、シスコ製のアクセスポイントと無線で通信できるようになり、セキュリティの強化、パフォーマンスの向上、高速ローミング、電源管理などの、他のクライアント デバイスがサポートしていないシスコの機能もサポートできるようになります。

CCX Aironet IE の設定（GUI）

ステップ 1 [WLANs] を選択して、[WLANs] ページを開きます。

ステップ 2 必要な WLAN の ID 番号をクリックして、[WLANs > Edit] ページを開きます。

ステップ 3 [Advanced] タブを選択して、[WLANs > Edit]（[Advanced] タブ）ページを開きます。

ステップ 4 この WLAN で Aironet IE のサポートを有効にする場合は、[Aironet IE] チェックボックスをオンにします。有効にしない場合には、このチェックボックスをオフにします。 デフォルト値が有効（オン）になっています。

ステップ 5 [Apply] をクリックして、変更を確定します。

ステップ 6 [Save Configuration] をクリックして、変更を保存します。

クライアントの CCX バージョンの表示（GUI）

クライアント デバイスは、アソシエーション要求パケットに CCX バージョンを格納してアクセス ポイントに送信します。 コントローラは、クライアントの CCX バージョンをデータベースに格納し、これを使用してこのクライアントの機能を制限します。 たとえば、クライアントが CCX

バージョン 2 をサポートしている場合、コントローラは、CCX バージョン 4 の機能を使用することをクライアントに許可しません。

ステップ 1 [Monitor] > [Clients] の順に選択して、[Clients] ページを開きます。

ステップ 2 目的のクライアント デバイスの MAC アドレスをクリックして、[Clients > Detail] ページを開きます。[CCX Version] テキスト ボックスに、このクライアント デバイスでサポートされる CCX バージョンが表示されます。 クライアントで CCX がサポートされていない場合は、*Not Supported* が表示されます。

ステップ 3 前の画面に戻るには、[Back] をクリックします。

ステップ 4 他のクライアント デバイスでサポートされる CCX バージョンを表示するには、この手順を繰り返します。

CCX Aironet IE の設定（CLI）

CCX Aironet IE を設定するには、次のコマンドを使用します。

config wlan ccx aironet-ie {**enable** | **disable**} *wlan_id*

デフォルト値はイネーブルです。

クライアントの CCX バージョンの表示（CLI）

コントローラの CLI を使用して、特定のクライアント デバイスでサポートされる CCX バージョンを表示するには、次のコマンドを入力します。

show client detail *client_mac*